

目次

- カメラ探訪
加久藤峠～ループ橋～…………… 2
- グラビア
明日の熊本への提言…………… 4
大型観光キャンペーン始まる…………… 6
- わたしの郷土
牛深…………… 8
- 告知板…………… 8
- 明日の熊本 ～私の提言～
取材を生かし熊本を活かせ…………… 9
- 特集
テクノポリス地域指定に大きなはずみ…10
～相次ぐソフトウェア等の企業進出～
- 随想
野鳥のいる風景……………18
盆踊りからジャギーまで……………19
- カラー熊本……………20
- わが町わが村
菊池郡大津町……………22
- ママさん特派員の県政ルポ
産業の振興による豊かな暮らしを求めて …24
- この人と30分
門田 正三氏 ……………28
- ママさん特派員報告
花の産地を訪ねて……………32
- 伝説
相 良……………34
- 熊本の文化財
洋学校教師館(ジェーンズ邸)……………35
- ボランティア活動
子供に夢を ……………36
- 県政トピックス……………38
- 目で見る県政
工 業……………39

表紙説明

おんだ祭り(阿蘇神社例祭)

「おんだ」とは阿蘇神社御田植神幸式の御田の意味である。

のどかな祭りであり、阿蘇高原の町なかを、また野道を、それもわずか1キ。足らずの道のりを行くのに半日以上ついやす、のんびりした行列。

この神幸行列で珍しいのは、目だけ残して全身を白装束でかためた宇那利で、これは神様にさしあげる昼食を運ぶ役である。

途中で奏する田歌は格調高いもので、御神幸を迎える町民たちは、神輿の下をくぐって、無病息災を祈願する。



カメラ探訪

加久藤峠の

ループ橋

「加久藤の長い長い峠をこえて、下に人吉の町をみた時には、私は喜びの声をあげずには居られなかった。町には雲が白く沈んでいた。町の中央を貫いた球磨川が銀のように光ってみえた。」

明治の終わりに人吉を訪ねた田山花袋が、長い長い峠と表現した難所加久藤峠も、昭和五十四年三月完成した東洋一のループ橋により、その風景を一変させた。

今では、人吉、えびの市間が二十分ほどで結ばれており、多くの車が行きかっている。